



あらかわ区報 Jr.



ArakawaKuhō Junior

平成28年 7/19

発行 荒川区●23,000部発行
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111

災害への備えは、まず知ることが第一歩 水害対策の仕組みって どうなってるの？



荒川区を含む、東京都の東部は、隅田川、荒川、江戸川など多くの河川が流れ、昔から洪水の多い地域でした。水害から人々の暮らしを守るため、荒川放水路（現在の荒川）や岩淵水門が作られ、今も洪水を防ぐためのさまざまな工事や対策が行われています。今号では、隅田川の氾らんを防ぎ、街を洪水から守っている岩淵水門を中心に、水害への備えについて紹介します。

岩淵水門

荒川から隅田川に流れ込む水量を調節する水門です。大雨で荒川の水位が上昇したときにゲートを閉め、隅田川の氾らんを防ぎます。大正13年に最初の赤い水門が完成し、現在は、より大きな新しい青い水門が使用されています。



荒川放水路

荒川の岩淵水門付近から河口までの下流は、洪水を防ぐために人工的に作られた川で、荒川放水路と呼ばれています。幅約500メートル、全長22キロメートルの大きな人工河川は、19年がかりの難しい工事の末、昭和5年に完成しました。



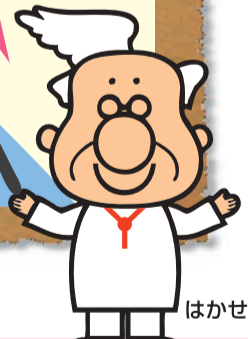
提供：国土交通省 荒川下流河川事務所



洪水が減ったから、私たちの街が発展したんだね！

▲荒川の水位を観測する施設です。観測データをもとに水門の操作を行っています

現在の岩淵水門ができてから、一度も水害が発生しておらんじゃ



▲今回のジュニア記者は、第五中学校で防災部に所属する（左から）3年生 菊川仁人くん、齋藤すみれさん、室田晟吾くん、2年生 三木杏珠さん

区内には、川の水面より低くなっている場所があるんじゃ。このため、隅田川や荒川が氾らんすると、広い範囲が水に浸かってしまう可能性がある。こうした水害を防ぐために、国では、荒川放水路や岩淵水門を整備しておく。ここで荒川から隅田川に流れ込む水量を調整し、流域で氾らんが起きないように監視するんじゃよ。区では、隅田川や荒川の堤防が決壊した場合の浸水予測や注意点が分かる「洪水ハザードマップ」を公開して注意を促しておくぞ。家や学校など、自分たちに身近な地域がどうなっているかを知って、みんなも日頃から水害に備えておくことが大切じゃぞ。

問合せ 国土交通省 荒川下流河川事務所 ☎(3902) 2311



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>

次は9月に発行する予定です

水害から身を守ろう!

都市での災害は地震だけではありません。水害についても日頃から、非常持出品の準備や、避難の方法などを考えておきましょう。

- ◆**正確な情報をチェック**
雨の降り方に注意し、テレビやラジオ、インターネットで気象・避難情報を確認。危険を感じたら高台へ避難しましょう。
- ◆**避難前にガス・電気を消す**
ガスなどの火を消し、電気のブレーカーを落としましょう。避難するときは、落ち着いて行動しましょう。
- ◆**動きやすい服装で避難**
長靴は水が入ると歩きにくくなるので、ひもで縛る運動靴が最適。助け合えるように2人以上で行動しましょう。
- ◆**万が一、逃げ遅れた時は**
建物のまわりが浸水してしまった場合は、無理に避難せず、近くの丈夫な建物の3階以上に逃げましょう。

荒川区防災アプリ登場!

災害時にスマートフォンやタブレットで防災地図や想定される浸水の深さなどを確認できる「荒川区防災アプリ」を無料でダウンロードできます。おうちの人に知らせて、ぜひ活用してください。

★近くの避難施設への道案内
★2つのモードで水害にも、地震にも対応
★位置情報付きの安否メールを送信
★英語、中国語、韓国語にも対応

問合せ 防災課 ☎内線418

ダウンロードはこちらから

iOS Android



▲災害対策支援船から岩淵水門を見学。災害対策支援船は、大地震が起きたときに水上から堤防などの被害を調査する船で、緊急時には対策本部としての役割も果たします

▲高さ約16メートルの巨大なゲート。完全に水門を閉めるには約1時間かかります。最近閉めたのは、平成19年の台風9号接近時でした

▲旧岩淵水門の近くにある荒川の水位観測ポール。観測史上最高記録は昭和22年にカスリーン台風の接近時でAP8.6メートルです ※AP:荒川工事基準面

▲旧岩淵水門は90年以上も前に作られたんだよ



▲上流から東京湾まで、荒川のすべてを見ることができる地形模型。「ここが荒川区だ」と自分たちの街を発見



▲洪水などの危険が高まったときは、災害対策室に職員が参集し、降雨や水位の情報を分析して、沿川地域の区や市に情報を提供します

▲岩淵水門の約300メートル上流にある赤い水門が、大正13年に作られた旧岩淵水門。昭和57年まで使用され、今は東京都選定歴史的建造物として保存されています



これが、岩淵水門だ

洪水を防ぐ! 岩淵水門は、荒川区の隣の北にあり、第五中学校防災部の4人がジュニア記者として、岩淵水門と荒川知水資料館「アモア」を訪れました。

最初に訪問したのは、岩淵水門の近くにある荒川知水資料館「アモア」。国土交通省・荒川下流河川事務所・池部さんから、荒川放水路や岩淵水門について説明を受けました。区周辺の昔から水害の多い地域だったことや、岩淵水門付近から下流の荒川が、実は人の手で作られた人工の川だということを初めて知りました。

さらに、隣の建物にある災害対策室も見学することができました。災害時の指令室にもなるこの部屋には、壁一面に大きなモニター画面が並んでおり、荒川の145カ所に設置されたカメラの映像や、それぞれの場所の水位、降水量など、皆さんの情報が表示されていました。

災害対策室を出て、土手を登ると目の前に大きな岩淵水門が現れます。ジュニア記者は、災害対策支援船「あらかわ号」に乗船。水上から水門に接近し、巨大なゲートの下をゆつくりと通過しました。船の上から重さ約214トンの分厚いゲートを間近で見学。大雨が1つの場合に備えておきましょう。

みなさんもおうちの人と水害について話し合い、万が一の場合に備えておきましょう。

思い出写真館

No.33 昭和初期～中期の水害

荒川区は隅田川(元の荒川)に面し、水害が多い地域でした。大正13年に旧岩淵水門、昭和5年に荒川放水路が完成し、水害が少なくなりましたが、大きな台風などが来ると隅田川から出水し浸水が発生していました。写真は昭和初期～中期の南千住地域で浸水が起きた際の様子です。現在の岩淵水門ができた昭和57年以降は、隅田川の氾らんによる水害は発生していません。



▲昔はひさまで浸水することがめずらしくありませんでした

夏休みのイベント

夏休みは図書館へ行こう! 荒川ふるさと文化館に集まれ! 夏休み子ども博物館

南千住図書館

☎(3807) 9221

- 科学あそびキラキラ! まんげきょうを作ろう!!
日時 7月27日(水)午後3時~4時
場所 地下視聴覚室
対象 区内在住の小学生以上
定員 30人(申込順)
- 体験型おはなし会「おばけのおはなし会」～レジ袋でおばけをつくろう～
日時 8月17日(水)午後3時~4時
場所 地下視聴覚室
定員 30人(申込順)

尾久図書館

☎(3800) 5821

- エコギターを作ろう!
日時 8月3日(水)午前11時~11時45分
場所 おはなしの部屋
対象 区内在住の4歳以上(未就学児は保護者同伴)
定員 15人(申込順)

日暮里図書館

☎(3803) 1645

- おめんを作ったかぶつて変身しよう!
日時 8月3日(水)午後3時30分~4時
場所 おはなしの部屋
対象 年齢目安4歳くらいから
定員 15人(申込順)

荒川図書館

☎(3891) 4349

- マーキングでおおきなをつくろう!
日時 7月27日(水)午後3時~4時
場所 おはなしの部屋
対象 4歳以上 定員 20人(申込順)

町屋図書館

☎(3892) 9821

- 科学あそび「からくりおもちゃをつくろう」
日時 8月10日(水)午後3時15分~4時
場所 おはなしのへや
対象 ひとりで作ることができるひと
定員 30人(当日の先着順)

全館共通 夏休み臨時開館

日時 8月22日~29日の月曜日(午前9時30分~午後5時)

※費用は、すべて無料です
※申し込みは、7月22日(金)午前9時30分から、各図書館のカウンター、または電話で受け付けます

あらかわ調べの相談室(無料)

区の歴史・文化などに関する分からないことを相談してみませんか。
日時 7月22日(金)~8月31日(水)午前9時30分~11時30分
※但し、毎週月曜日、8月18日(木)は除く
対象 区内在住・在学の小・中学生

親子で楽しむ展示解説(無料)

日時 7月30日(土)午前11時~正午
対象 区内在住・在学の小・中学生とその保護者

あらかわ職人道場

区内には伝統工芸の職人さんがたくさんいます。職人さんに1日だけ弟子入りして、伝統工芸の技を体験しよう。
★手描友禅の技で優雅な花を描こう!
日時 7月30日(土)午後1時30分、午後2時15分
対象 区内在住・在学の小・中学生
定員 各回5人(申込順)

夏休み子ども博物館

対象 区内在住・在学の小・中学生
定員 15人(申込順)
講師 加藤早苗氏(俳人協会幹事)

●勾玉づくりにチャレンジ!
縄文時代の人びとの暮らしを勾玉づくりから体験しよう。作ったネックレスは、持ち帰れます。
日時 8月7日(日)、9日(火)午前9時~午後2時(昼休憩あり)
対象 区内在住・在学の小学4年生~中学生
※親子で参加できます
定員 各日20人(申込順)
講師 八代龍門氏
費用 500円(材料費)

●リトル学芸員(無料)
1日学芸員になって、博物館を探検して、資料を調べてみよう!
日時 8月23日(火)午前10時~正午
対象 区内在住・在学の小・中学生
定員 20人(申込順)

みんなの参加を待ってるよ

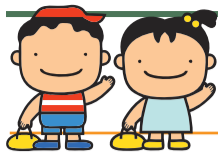
◆全館共通 夏休み臨時開館
日時 8月22日~29日の月曜日(午前9時30分~午後5時)

※費用は、すべて無料です
※申し込みは、7月22日(金)午前9時30分から、各図書館のカウンター、または電話で受け付けます

俳句をつくらう!(無料)

「五・七・五」のリズムに乗って、オリジナルの俳句を作ろう。俳句と絵を描いて、完成した作品を持ち帰れます。
日時 8月5日(金)午前10時~午後3時

場所・申込み・問合せ
荒川ふるさと文化館 ☎(3807) 9234



学校訪問

部活動

学校自慢



教室での稽古

原中学校

町屋5-12-6

生徒が部活動を紹介し
演劇部

私たちはまだ、大会等での実績はありません。しかし、かつてあった原中演劇部は都の発表会に出られるほどの実力だったそうです。また、原中の体育館には演劇などが上演できるように広々としたス

私たちは原中学校演劇部は、平成26年から新たな部活動として発足しました。最初は、部員が2人という状態でしたが、現在は3年生が5人、2年生が4人の計9人で活動しています。活動日は月・火・木・金・土です。文化祭や区の発表会に向けて練習しています。文化部ではありますが、ストレッチから始め、筋トレ、発声練習、通し稽古などを行っています。

私たちはまだ、大会等での実績はありません。しかし、かつてあった原中演劇部は都の発表会に出られるほどの実力だったそうです。また、原中の体育館には演劇などが上演できるように広々としたス

私たちは原中学校演劇部は、平成26年から新たな部活動として発足しました。最初は、部員が2人という状態でしたが、現在は3年生が5人、2年生が4人の計9人で活動しています。活動日は月・火・木・金・土です。文化祭や区の発表会に向けて練習しています。文化部ではありますが、ストレッチから始め、筋トレ、発声練習、通し稽古などを行っています。



文化祭での発表

文化祭での発表は、都の発表会に行ける力を身につけることです。現在、来年度新入部員がたくさん入ってくれるよう、全力で部活動に取り組み、文化祭と区の発表会での上演に向けて励んでいます。

第九回 柳田邦男絵本大賞

絵本への想いを手紙で届けてください。

対象 区内在住・在勤・在学の方

募集期間 7月15日(金)～9月30日(金)

募集部門 子どもの部(中学生以下)…400～800字程度

※一般の部もあります

応募・問合せ 〒116-0003 荒川区南千住6-63-1南千住図書館柳田邦男絵本大賞事務局 ☎(3807) 9221

※詳細はお問い合わせください

第二回 C.W. ニコル自然体験大賞

自然体験の中で得た感動を、手紙にしてください。

対象 区内在住・在学の小・中学生

応募方法 7月25日(月)から、荒川区ホームページからダウンロードした応募用紙と原稿(200～300文字)を持参・郵送・電子メール(郵送は封筒に「応募原稿在中」と朱書、電子メールは件名に「C.W.ニコル自然体験大賞応募原稿」と記載)で

締切り 10月31日(月)必着

応募・問合せ 〒116-8501(住所不要)荒川区役所3階文化交流推進課内 C.W.ニコル自然体験大賞事務局 ☎(3802) 3795 ✉bunka@city.arakawa.tokyo.jp

荒川区環境区民大賞の表彰式が行われました

日頃から熱心に環境活動に取り組んでいる個人と団体などを表彰する荒川区環境区民大賞の表彰式が、6月19日「環境・清掃フェア」内で行われました。大賞として、第四峡田小学校、原中学校生徒会が一般の団体とともに表彰されました。

問合せ 荒川ふるさと文化館 ☎(3807) 9234

尾久西小学校

西尾久5-27-12

学校の自慢を児童が
紹介します



庭。天気の良い日には寝転がっている子の姿も

尾久西小学校はたてわり班活動など、他学年とのふれあいが多くあるのも特徴です。三つ目は、自然園です。自然園にあるカッパ池にはいろいろな生き物がいて、私たちの自然の観察の場、遊び場になっています。

みんなが大好きな尾久西小学校のすてきなところを紹介したいと思います。一つ目は、校庭の芝生です。夏には、芝が校庭一面に生えていてフカフカしているの、とても気持ちがいいです。二つ目は、尾久西ミュージアムです。中には、昔の机や黒電話など、今とは違うものがたくさんあって、昔の人のくらしがわかります。



自然園の中にあるカッパ池、トンボやカエルなどの生き物の住処になっています

これからも、それぞれのよい所を活かして仲良く過ごしたいと思います。そして、尾久西小学校がもっと素敵な学校になり、児童だけでなく保護者の方や卒業生、地域の方々にも愛され、誇りに思ってもらえるように頑張りたいと思います。

執筆 6年 原澤美羽 山田 萩原 太田 琉輝

あらかわ今昔ものがたり

あらかわの歴史と伝説

その102 汐入堤と砂尾長者伝説

近頃、洪水のニュースを良く聞くね。荒川区の周りには隅田川が流れているけど、どんな洪水の備えをしているんだろう？ そう、水の量をコントロールする岩淵水門(北区)や川沿いに築かれたスリーパー堤防があるよね。少し前までは、カミソリ堤防と呼ばれるコンクリートの壁の堤防があったけど、今では、あらかわ遊園の水上ステージや汐入公園など、スリーパー堤防は

隅田川を親しめる場所としても利用されているよね。町中の堤防・汐入堤

その砂尾長者には、いくつかの伝説がある。昔々、砂尾長者が住んでいたのが、石浜(南千住3丁目付近)を治めていた砂尾長者という人が築いたと言われているんだ。

町の中が水浸しにならないように、造られたんだって。汐入堤は、洪水の被害を少しでも食い止めようと築かれたんだ。造られた時期はわからないけど、その昔、石浜(南千住3丁目付近)を治めていた砂尾長者という人が築いたと言われているんだ。

昭和の初めまで、堤にちなんだ砂尾・砂尾堤先・堤根の地名が、使われていたんだって。今は、ほとんど姿を消してしまっただけで、南千住7丁目の汐入に向かう「旧砂尾堤通り」や東京ガス(南千住3丁目)の西側の道が、堤の名残なんだ。この夏休み、汐入堤の跡を探検してみ

「小塚原村絵図」(荒川ふるさと文化館蔵)

問合せ 荒川ふるさと文化館 ☎(3807) 9234